

「愛知県がん対策推進計画（第2期）」の推進に関する平成28年度の主な取組

県民の死亡原因の第1位であるがんの死亡率を減少させるとともに、がんになっても安心して自分らしく暮らせる社会の実現を目指し、がんの予防、治療等に係る対策を総合的かつ計画的に推進する。

基本方針Ⅰ：年齢・性・就労状況等に配慮したがん患者やその家族の方々の視点 に立ったがん対策の推進

1 女性に特有のがん対策

「女性特有のがん対策専門会議（平成25年度開催）」による提言を踏まえ、検診の受診推奨開始年齢の女性が多く所属する団体（大学、PTA等）と連携した啓発活動や女性が検診等を受診しやすい環境づくりのための医療機関に関する情報提供を行う。

- ①PTA等と連携したがんに関する講演会の開催 2回
海部地区小中学校PTA連絡協議会、丹羽地区小中学校PTA連絡協議会
- ②PTA会員や女子学生を対象に乳がん・子宮頸がん検診の啓発リーフレットを配布
- ③受診の際に参考となる医療機関の情報や女性特有のがんに関する情報をホームページへ掲載
掲載機関数（平成28年6月現在）：197
- ④HP掲載医療機関に乳がん・子宮頸がん検診の啓発リーフレットを配布し、活用を依頼

2 小児がん対策

(1) 小児がん診療に関する県内医療機関への調査

小児がん医療体制の一層の充実のため、小児がん拠点病院以外で小児がんの診療を一定数以上行っている病院における小児がんの診療体制、支援体制や診療実績を調査し、小児がん拠点病院や関係医療機関で情報共有

- ・対象：県内で小児がん患者の院内がん登録年間件数が10件以上の8病院
- ・調査内容：小児がん医療提供体制（スタッフ配置状況、対応可能な治療）、診療実績
小児がん患者への教育支援体制、相談支援体制
- ・時期：5月～6月 調査・集計
7月 関係医療機関へ集計結果を提供

(2) 病気療養児の就学支援に関する研修会

小児がん患者の就学（復学）支援のため、がん診療連携拠点病院の看護師等と院内学級や前籍校で病気療養児の教育に携わる教員による情報交換や事例検討を行う。

- ・時期：平成28年8月18日（木）
- ・講師：大府特別支援学校教諭、小児科医

3 働く世代のがん対策

「がん患者就労継続支援・がん検診促進検討会議（平成 25～26 年度開催）」による提言（平成 27 年 3 月）を踏まえ、働く世代のがん検診受診率向上やがんに罹っても働きながら治療を続けられる環境づくりに向けた啓発活動を実施。

- ①がん治療と仕事の両立支援に向けて留意すべき点をまとめたパンフレット（企業の事業主・人事担当者向け）の作成、配布
- ②がん予防やがん患者の就労継続支援をテーマとしたシンポジウム等の開催 2 回

4 がん患者・家族に対する相談支援事業

がん治療経験者によるがん患者・家族の悩みや疑問に対する電話相談を行う。

- ・がん治療経験者による電話相談をNPO法人に委託して実施（毎月 5 回）

基本方針Ⅱ：県内どこに住んでいても病状に応じた適切ながん治療や緩和ケアを受けられるがん対策の推進

1 がん診療連携拠点病院関係事務

国が制度化しているがん診療連携拠点病院を国へ推薦し、指定を受けて地域におけるがん医療水準の向上とがん診療連携の強化を図っている。（17 病院）

また、県独自に国指定制度に準じる要件をもって、がん診療拠点病院を指定して、がん診療体制の強化を図っている。（9 病院）

昨年度から、各国指定拠点病院の診療実績や県計画の目標達成状況を県ホームページに掲載しているところ、今年度からは、県指定拠点病院の実績等も掲載の予定。

《厚生労働大臣指定のがん診療連携拠点病院》

がんに関する手術、放射線、化学療法の集学的治療ができ、一定の診療実績があることに加え、緩和ケアや相談支援、地域の医療機関との連携等様々な要件を満たす病院で 2 次医療圏の拠点となる病院を、県が推薦し、国が指定。

《愛知県指定のがん診療拠点病院》

国指定の拠点病院の指定要件に準じる要件（診療実績要件のみ一部緩和）を満たす病院として県が指定。

2 がん診療連携拠点病院機能強化事業費補助金

がん診療連携拠点病院が、診療機能、医療連携機能の強化や相談支援体制の強化を図るために要する経費に対して補助を行う。

- ・補助対象病院数 国指定病院のうち国から直接補助を受ける病院を除く 12 病院
- ・補助単価等 6,490 千円（国 1/2、県 1/2）

【がん診療連携拠点病院等指定状況】 平成28年4月1日現在

| 区分 | 国指定のがん診療連携拠点病院 | 県指定の愛知県がん診療拠点病院 |
|--------|--|--|
| 全医療圏 | 愛知県がんセンター中央病院 | |
| 名古屋 | 国立病院機構名古屋医療センター 名古屋大学医学部附属病院 地域医療機能推進機構中京病院 名古屋市立大学病院 名古屋第一赤十字病院 名古屋第二赤十字病院 | 名古屋掖済会病院 名古屋記念病院 中部労災病院 名古屋市立西部医療センター |
| 海部 | 愛知県厚生連 海南病院 | |
| 尾張東部 | 公立陶生病院 藤田保健衛生大学病院 | 愛知医科大学病院 |
| 尾張西部 | 一宮市立市民病院 | |
| 尾張北部 | 小牧市民病院 | 春日井市民病院 |
| 知多半島 | 半田市立半田病院 | |
| 西三河北部 | 愛知県厚生連 豊田厚生病院 | トヨタ記念病院 |
| 西三河南部東 | 愛知県がんセンター愛知病院 | 岡崎市民病院 |
| 西三河南部西 | 愛知県厚生連 安城更生病院 | 刈谷豊田総合病院 |
| 東三河南部 | 豊橋市民病院 | |

注) 指定期間は何れも平成30年度末まで

基本方針Ⅲ：がんの正しい知識の普及啓発・教育を通じて、がんの予防・早期発見を進めるがん対策の推進

1 がん検診普及啓発事業

市町村、連携企業と協働する等して、がんの予防やがん検診の普及啓発を行う。

- ①受診啓発のポスター、リーフレットを市町村、連携企業に配布
- ②がん検診受診促進キャンペーン月間（10月）を中心に街頭啓発等を実施

2 がん検診従事者講習会

がん検診の精度向上のため、各種がん検診に従事する者の資質向上を図ることを目的とした講習会を外部委託により開催する。

- ・大腸がん検診、胃がん検診エックス線撮影、乳がん検診、細胞診に係る従事者講習会を開催（各1回）

3 がん対策部会がん検診精度管理委員会

がん検診精度管理委員会を開催し、市町村が行う各がん検診の精度管理を行う。

- ①前年度の全市町村のがん検診実施結果を調査、集計して公表
- ②胃、子宮、乳、肺、大腸の5部位の委員会を開催し、精度管理上の問題点を分析して市町村へ改善通知

4 市町村がん検診担当者研修会

市町村のがん検診担当者を対象にがん検診の精度向上のための事業評価手法等について説明する研修会を開催。

- ・時期：平成28年7月4日(月)
- ・内容：胃がん検診、肺がん検診の精度管理のポイント、事業評価手法等

5 がん教育の充実に向けた取組

(1) がん専門医等による出前講座

県内市町村教育委員会へ中学生向け出前講座の希望校を募集し、応募のあった学校など7校において、がん専門医等による出前講座を実施。

(2) 中学校保健体育担当教諭向けがん教育研修会

文部科学省が平成27年3月に都道府県教育委員会等へ通知した「学校におけるがん教育の在り方について」において、平成29年度以降、同省ががん教育の全国展開を目指していくことや、がん教育の内容案が示されたことから、中学校の保健体育教諭ががん教育の概要を理解する研修会を開催。

- ・時期：平成28年8月22日(月)(岡崎市内)

基本方針Ⅳ：がんの研究等を踏まえたがん対策の推進

1 愛知県悪性新生物患者登録事業（がん登録事業）

がんの診断治療に関する情報を医療機関から収集して、がんの罹患率等を把握し、がん対策やがん研究の基礎資料とするとともに、結果を医療機関や県民に情報提供し、がん医療の向上やがんの予防啓発を図る。

なお、平成28年1月診断分からは「がん登録等の推進に関する法律」に基づく「全国がん登録」として届出する制度が導入されたため、現在最終集計中の平成25年分、また、既に概ねの情報を収集している平成26年分と平成27年分について、地域がん登録のデータベース作成や集計等を行っていくとともに、全国がん登録の届出勧奨や届出受付等を行う。

【届出等の推移】

| | | | | | | | | | |
|-----|--------|---|--------|---|--------|---|--------|--------|--------|
| 年次 | 平 12 年 | | 16 年 | | 20 年 | | 24 年 | 25 年 | 26 年 |
| 届出数 | 19,049 | ～ | 25,415 | ～ | 32,950 | ～ | 52,187 | 58,135 | 57,070 |
| DCN | 33.1 | | 31.3 | | 21.2 | | 11.9 | - | - |

DCN…がん罹患数のうち、がん登録により把握されず、人口動態調査の死亡情報により把握されたものの割合

【罹患数及び届出精度】

医療機関から提出された届出票のデータに、死亡票のうち死因が悪性新生物のもので届出されていないものを加えて、その年の悪性新生物の罹患数を算出する。

《罹患数及び届出精度の状況》

| 年次 | 罹 患 数 A(B+C) | 登 録 数 B | 死亡票のみの数 C | DCN(%) C/A |
|------|-----------------|------------|--------------|---------------|
| 24 年 | 41,690 | 36,729 | 4,961 | 11.9 |

2 生殖機能を考慮した治療の推進

がん治療後に妊娠できなくなることを回避するため、患者の希望を踏まえて卵子等の凍結保存を行うなどの妊孕性温存の取組が大学病院等で始まっている状況や患者紹介の方法等をごん診療連携拠点病院関係者に情報提供する。

がん対策の計画的推進

がん対策部会の開催（年 1 回）

がんに関する各分野の専門家で構成する同部会を開催し、がん対策に関する取組の状況と目標の進捗状況を報告した上で、がん対策に関して望まれる方向性等について意見聴取する。

